



うさぎ組だより 7月



梅雨入りしたと思ったら、連日の猛暑に熱帯夜。大人も子どもも、ちょっと油断すると夏バテをしてしまう時期です。室内と室外の温度差や、水分や塩分不足など要因はさまざまですが、体調にはくれぐれも気を付けていきたいですね。そんななかでもうさぎ組の子どもたちは元気いっぱい！気温が高くなるこれからの季節は、室内での活動が中心になりますが水や氷、寒天などに触れひんやり気持ち良い遊びなどを楽しめたらと思っています。少しでも快適に楽しく過ごせるよう工夫していきたいと思います。

えだまめみたい！？

枝豆の食育を行った数日後、〇〇ちゃんが自分の足の親指を触りながら、「えだまめみたい」と言いました。その豊かな想像力に脱帽です!! 子どもの足の指を豆に見立て、「ふくすけさん・えんどうまめが焦げるよ・はやく行ってかんましな♪」というふれあい遊びのわらべ歌もあります。子どもの足の指って本当に豆みたいで可愛いですよね。おうちでも楽しんでみてくださいね！



7月の目標



- 保育士や友だちに親しみを持ち、自ら関わろうとする。
「いれて」「一緒に遊ぼう」など、関わりの際に必要な言葉に興味を持ち、安心して遊べる環境を整えていきます。
- 簡単な身の回りのことに興味を持ち、自分でやってみようとする。
「自分で！」と頑張ろうとする気持ちを大切にしていきます。たくさん褒められ、認められていく中で、自信を持てるようになればと思っています。
- 今月の歌♪「たなばたさま」「きらきら星」季節を感じながら、楽しんでいきます。

「食べられたよ！」

うさぎ組では、食育としてとうもろこしの皮むき、枝豆のさや取りを楽しみました。皮やひげのついたとうもろこし、枝に大きな葉っぱと一緒にくっついている枝豆など、もしかしたら初めて見た子もいたかもしれません。事前にとうもろこしは色紙で模型を作り、枝豆は絵本「そらめくんとおまめのなかま」を見て皆で当日を楽しみに待ちました。実際に食材に触れると、一生懸命とうもろこしの皮やひげをとってくれたり、枝豆のさやを取ってくれたりしました。とうもろこしは皮がついている状態では「何だろう・・・」と怪訝なお顔をしていた子も、黄色いつぶつぶがみえてくると「コーン！」と笑顔になりました。枝付き枝豆は「木みたい!」「葉っぱがついてる!」「とれないよー(力がいりました)」と言ったり、ある子は「こいのぼりみたい…」と枝についた枝豆が、風に泳ぐこいのぼりに見えた様で、皆思い思いに感じたことを伝えてくれています。これらは調理さんの手によってとうもろこしは蒸しパンに、枝豆は豆ごはんになって登場すると、いつもは苦手な物も「1つ食べてみよう!」と心が動く子どもたちの様子が見られました。今後も食育を通して、食に興味をもったり、身近に感じられるような体験をしていけたらと考えています。



おねがい

暑い日が続き、うさぎ組では寒天遊び、絵の具遊び、水遊びなど、様々な感触を楽しめる遊びを考えています。子どもたちは色々なことに興味いっぱいです。思いがけず洋服が汚れることもありますので、汚れても良い服での登園をお願いいたします。